

事故を防ぐためには…



子どもが使用するときには**保護者の監督下**で行い、
子どもが**容易に持ち出せない場所**に保管しましょう

保護者等が誤飲した現場を見ておらず、気が付かない場合があります。
子どもが自由に使ったり、容易に持ち出すことができない場所に
保管しましょう。

成人でも腸閉塞を起こす可能性があり、特に**認知症の高齢者**では
十分に注意する必要があります。

誤飲に気づいたときや、**その疑いがあるときは**
すぐに**医療機関を受診**しましょう

速やかに医療機関を受診し、誤飲したものが高吸水性樹脂で
あることや誤飲したおそれがある時間を伝えてください。
商品やパッケージなどが残っていれば見せてください。

対象年齢未満の子どもがいるご家庭では、
購入を控えることも検討しましょう



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。

<https://www.kokusen.go.jp>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー

<https://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。

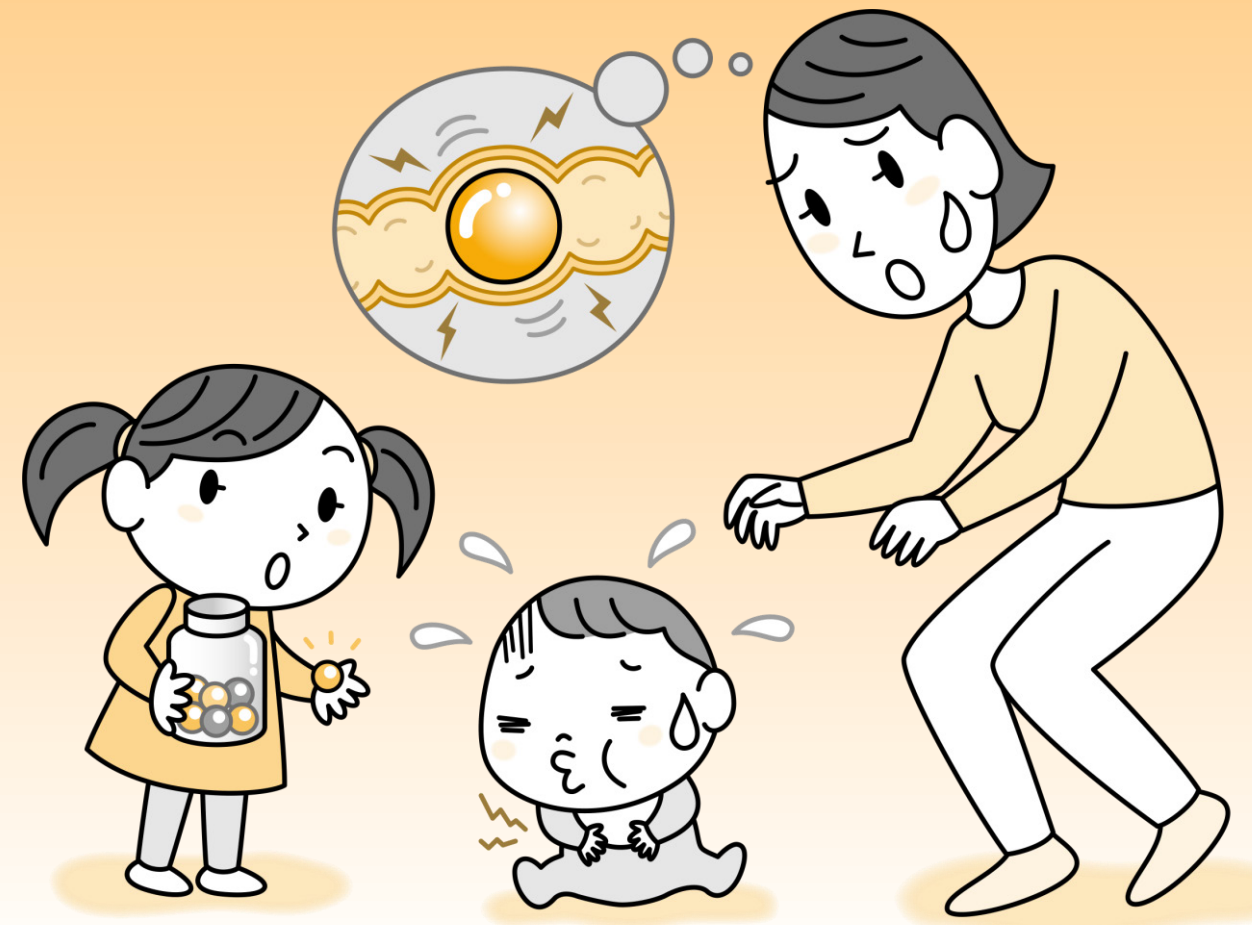


独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2022年 9月発行
イラスト: 川崎 敏郎

くらしの危険 Number 369

乳幼児による 水で膨らむボール状の樹脂製玩具の 誤飲にご注意!



乳幼児が水で膨らむボール状の樹脂（高吸水性樹脂）製玩具を誤飲して腸閉塞を
起こし、手術をしたという事故が発生しています。

高吸水性樹脂は水と接触することによって吸水し、一度吸水すると圧力をかけても
水が戻りにくいという特徴があります。このような特徴をもつ高吸水性樹脂製の
ものを誤飲してしまうと、消化管内で大きく膨らんで腸を閉塞することがあります。

乳幼児が高吸水性樹脂製品を誤飲する事故が起きています

「医師からの事故情報受付窓口※1」と「医療機関ネットワーク※2」に、乳幼児（0～5歳）が誤飲して膨らんだ高吸水性樹脂製品により腸閉塞を起こしたという事故情報が寄せられています。

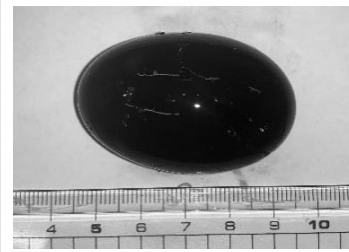
※1：消費者が商品・役務の利用等により事故に遭い医療機関を受診した情報を直接医師から得ることで、事故情報を早期に把握し、再発・拡大防止に役立てるため、国民生活センターで2014年8月より「医師からの事故情報受付窓口」（愛称：「ドクターメール箱」）を開設しています。
 ※2：消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活において生命または身体に被害が生じた事故に遭い、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集するもので、2010年12月から運用を開始しました。

「医師からの事故情報受付窓口」に寄せられた事故情報

ケース1

発熱や咳が繰り返し出る症状が現れ、翌日から嘔吐症状と食欲低下があり、翌々日、咳が治らず、入院した。腸管が広がっている様子や小腸先端に異常がみられ、同部位での閉塞が疑われたことから、緊急手術を行い小腸内の異物を摘出した。

（事故発生年月：2021年9月、9カ月・男児）



摘出された異物

ケース2

水で膨らむボール状の樹脂製玩具で遊んだ1～2時間後から嘔吐があり、救急外来を受診し、症状発生から4日経過しても嘔吐症状が続いていた。再度救急外来を受診したところ、複数の膨張したボールが腸管内に確認され、誤飲から5日後に開腹手術を行い、腸管内の異物を摘出した。

（事故発生年月：2021年12月、1歳・男児）

「医療機関ネットワーク」に寄せられた事故情報

ケース3

浴室に保管していた水で膨らむボール状の樹脂製玩具を、患児がいつの間にか持ち出して遊んでおり、誤飲した可能性があった。その2日後に嘔吐の症状が現れ、その後も嘔吐と腹痛が持続し、腸閉塞と診断されたが、原因は不明で、開腹手術の結果、回腸※1に異物と疑われる塊が触知され、腸の外からの圧迫により結腸※2まで誘導することができ、術後3日目に排出された。

（事故発生年月：2021年12月、4歳・男児）

*1 回腸は、小腸の一部で、回盲部を経て大腸（盲腸）につながる部分
 *2 結腸は、大腸の一部で、盲腸から続き、直腸、肛門へと続く

海外でも同種の事故は発生しており、死亡に至った事例も報告されています

高吸水性樹脂とは

水と接触することによって、自重の100～1,000倍の水を吸収でき、一度吸水すると圧力をかけても水が戻りにくいという特徴があります。

この特徴を利用した商品には、紙おむつや生理用品等の衛生用品、着色した観賞用のインテリア用品等があります。その他にも、有効成分を添加した芳香剤・消臭剤や虫除け用品、植物の栄養成分を添加した園芸用品などがあります。

市販品では、高吸水性樹脂、吸水性樹脂、アクリルポリマー、吸水性ポリマー等と表示されています。



高吸水性樹脂製玩具について調べてみました

市販されているボール状の高吸水性樹脂製玩具7銘柄について調査しました。



膨らみ具合の推定

胃や腸内でどれくらい膨らむかを推定するため、胃液や腸液を想定した模擬液*に浸し、大きさを調べました。

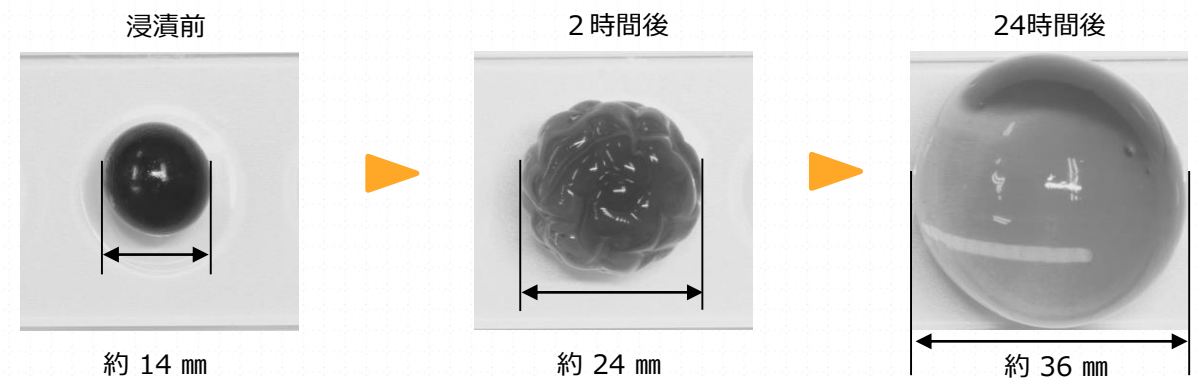
*「日本薬局方」による崩壊試験第1液（pH約1.2）、第2液（pH約6.8）

胃液を想定した模擬液

平均膨張率は24時間後で最大70%程度（元の大きさの1.7倍）でした。

腸液を想定した模擬液

直径15mm程度のものが24時間後には40mm近くまで膨張しました。



※長さは同一個体における最長箇所での長さを表しています



表示調査

商品の容器やパッケージの表示を調べました。

誤飲による腸閉塞のリスク

2銘柄に誤飲した場合に消化管に詰まるおそれがある旨の記載がありました。誤飲して腸閉塞を起こした場合、**開腹手術等が必要になると具体的に記載されているものはありませんでした。**

その他の使用上の注意

日本語での**注意表示がみられないものが4銘柄**ありました。